

慶應義塾大学 2022年度
文学部 英語

(I)

A

(II)

よく使われる便利なものは改良されより便利になる。(24字)

(III)

人々を面倒事から解放するために便利なものが生み出されるが、逆にそれによって人々は気づかないうちに「何がもっとも効率的か」という尺度のみを妄信し、自分の選びたいものを選ぶということができなくなっているのである。

(IV)

生活が便利になって、誰もが好きなことに時間を費やせるようになったということ。(39字)

(V)

A

(VI)

生活と労働が楽になったことを便利さに起こった第一の革命とするなら、第二の革命は、自分の個性を表現することが楽になったということである。

(VII)

フェイスブックにおける形式と慣習にしたがうと、一人ひとりの個性というものはほとんど剥ぎとられてしまう。かろうじて残るのは、プロフィール写真の背景として山の写真を選ぶか海の写真を選ぶか、といった薄っぺらい個性だけである。

(VIII)

筆者は、物事が便利になることで、人間が容易でないことに自ら立ち向かう機会が減って、何をどうするかを設定するだけの機械に墮落することを危惧していて、あえて面倒事に手をつけることで我々の周りの自然や物事がどうなっているのかを自ら体験できるから。

(IX)

Lack of mutual interaction deprives us of the essence of human experience.